

▶**受付**
各コースとも中面に記載してある時間帯にスタート会場で受付を済ませてください。(2日間参加の方は、1日目のみで可)大会冊子(コース地図)、ゼッケンをお渡しします。

▶**完歩証**
コース完歩者には、完歩証を授与します。競歩大会ではありません。自由歩行ですので、自然を満喫しながらスタッフの指示に従ってウォーキングを楽しんでください。

▶**表彰**
AJWCとTML東北マスターウォーカーの表彰を2日目の開会式で行います。パスポートをご持参ください。

**フィニッシュ後には
温かい豚汁の
ふるまいを行います!**

※1日目(4/5)のみ。
ふるまいは参加料に含まれます。

そのほか... 大会バッジ、参加賞をお渡しします

第27回 ふくしま吾妻荒川・花見山ツデーマーチ開催要項

●参加料

**事前支払い 一般 2,200円
中学生以下無料**

※申し込み・発券手数料は主催者が負担します。

**当日支払い 一般 2,500円
中学生以下無料**

- 1日だけの参加でも同額です。
- 当日支払いの参加料は、受付にて徴収させていただきます。
- **事前申し込みをされた方に、キティハンドタオルをお渡しします。**



●参加資格

健康な方なら誰でも参加できます。(但し、中学生以下の方は保護者同伴)

●免責範囲

参加者は万全の健康管理のもとに参加してください。万一事故が発生した場合、主催者は傷害保険に加入している範囲、および応急処置以外の責任は負いませんのでご了承ください。

お申し込み後、お客様都合によるキャンセルや人数変更での返金対応はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

天候や災害などの事態によりイベントが中止になった場合に限り、参加料は全額返金いたします。

●その他

自然災害、歩行困難な荒天、流行性疾患のまん延等の不慮の災害が生じた場合、大会を中止することがあります。その場合、交通費・宿泊費など個人負担の費用補償及び歩行記録の認定はできません。また、大会資料等の送付は、その都度主催者が判断し決定いたします。

水筒、雨具、給水用マイカップ、健康保険証またはマイナンバーカードは各自で用意ください。

参加申込方法

間違いを避けるため、電話での受付はいたしません。必ず、下記の方法でお申し込みください。

インターネット



福島民友新聞社
ホームページ
スポーツ
エントリー
バスケット

コンビニ決済



コード番号
108-818

コード番号を店頭マルチコピー機に入力してください。
※全国のセブンイレブン店舗で利用可能

往復はがき

往信はがき

表面：〒960-8648 住所不要
福島民友新聞社事業部内ツデーマーチ事務局
裏面：代表者の住所、郵便番号、氏名、年齢、電話番号、参加者全員の氏名、希望するコース、TML達成回数と表彰希望の有無

返信はがき

表面：申し込み者の郵便番号・住所・氏名
裏面：白紙

- ①4/5の20km、30kmコース参加者用の弁当(昼食)は事前決済のみ予約をお受けします(1食700円 税込み)。キャンセルはできません。
- ②東北マスターウォーカー表彰をご希望の方は、申し込みの際にTML達成回数を記入してください。東北マーチングリーグ事務局より直接ご案内申し上げます。
- ③当日の受付時に、返信はがき、返信メールを提示していただきます。

お申込み締切

令和7年3月17日(月)までにお申し込みください。
締切後も参加者の受付は行いますが、大会冊子への氏名の掲載はございません。

当日の参加申し込みは受け付けません。

国際市民スポーツ連盟公認大会
IVV (International Volkssport Verband)

日本市民スポーツ連盟公認大会
IVV-JAPAN

実 湧 満 彩 ふくしま路ウォーク

第27回 ふくしま吾妻荒川・花見山ツデーマーチ



オールジャパンウォーキングカップ公認大会 / 東北マーチングリーグ公認大会 / 歩こうふくしま59「福島市」 / 美しい日本の歩きたくなるみち500選「ふくしま信夫三山・自然のみち」

2025年 4月5日(土)・6日(日) 2日間 **雨天決行**

会場 スタート・フィニッシュ 福島市まちなか広場 駐車場なし(公共交通機関をご利用ください)



↓申し込み詳細



(写真)福島市 花見山

お問い合わせ

ふくしま吾妻荒川・花見山ツデーマーチ実行委員会事務局

TEL 024-523-1334 FAX 024-523-1634

〒960-8648 福島市柳町4-29 福島民友新聞社営業局事業部【平日午前10時～午後5時】

- 主催/実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会(ふくしま吾妻荒川花見山ツデーマーチ実行委員会、ふくしま花ウォーク実行委員会)
- 共催/福島市、一般社団法人日本ウォーキング協会、一般社団法人日本市民スポーツ連盟、NPO法人福島県ウォーキング協会、福島商工会議所、公益社団法人福島青年会議所、一般社団法人福島市観光コンベンション協会、高湯温泉観光協会、土湯温泉観光協会、飯坂温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合、福島民友新聞社
- 後援/福島県、公益財団法人福島県スポーツ協会、公益財団法人福島県観光物産交流協会、福島市教育委員会、福島市スポーツ協会、福島市緑化推進委員会、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、読売新聞東京本社福島支局、福島中央テレビ、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMポコ、福島市観光開発株式会社

1日目・4月5日(土)

午前7時30分 受付開始
 午前7時30分～同50分 30キロ受け付け後随時スタート
 午前8時 開会式
 午前8時10分～同15分 20キロスタート
 午前8時15分～同20分 10キロスタート
 午前10時30分～ ふるまい
 ※午後2時30分最終フィニッシュ

- ◆30キロコース(荒川・あづま・信夫山コース)
 まちなか広場⇒こむこむ前⇒あづま橋⇒桜づつみ⇒仁井田橋⇒日の倉橋⇒荒川橋⇒民家園⇒日の倉橋⇒表北橋⇒吾妻学習センター⇒信夫山⇒まちなか広場
- ◆20キロコース(荒川・信夫山コース)
 まちなか広場⇒こむこむ前⇒あづま橋⇒仁井田橋⇒表北橋⇒吾妻学習センター⇒信夫山⇒まちなか広場
- ◆10キロコース(信夫山コース)
 まちなか広場⇒県立美術館・図書館⇒信夫山⇒まちなか広場

2日目・4月6日(日)

午前7時30分 受付開始
 午前8時 開会式
 午前8時10分～同15分 20キロスタート
 午前8時15分～同20分 10キロスタート
 ※午後1時30分最終フィニッシュ

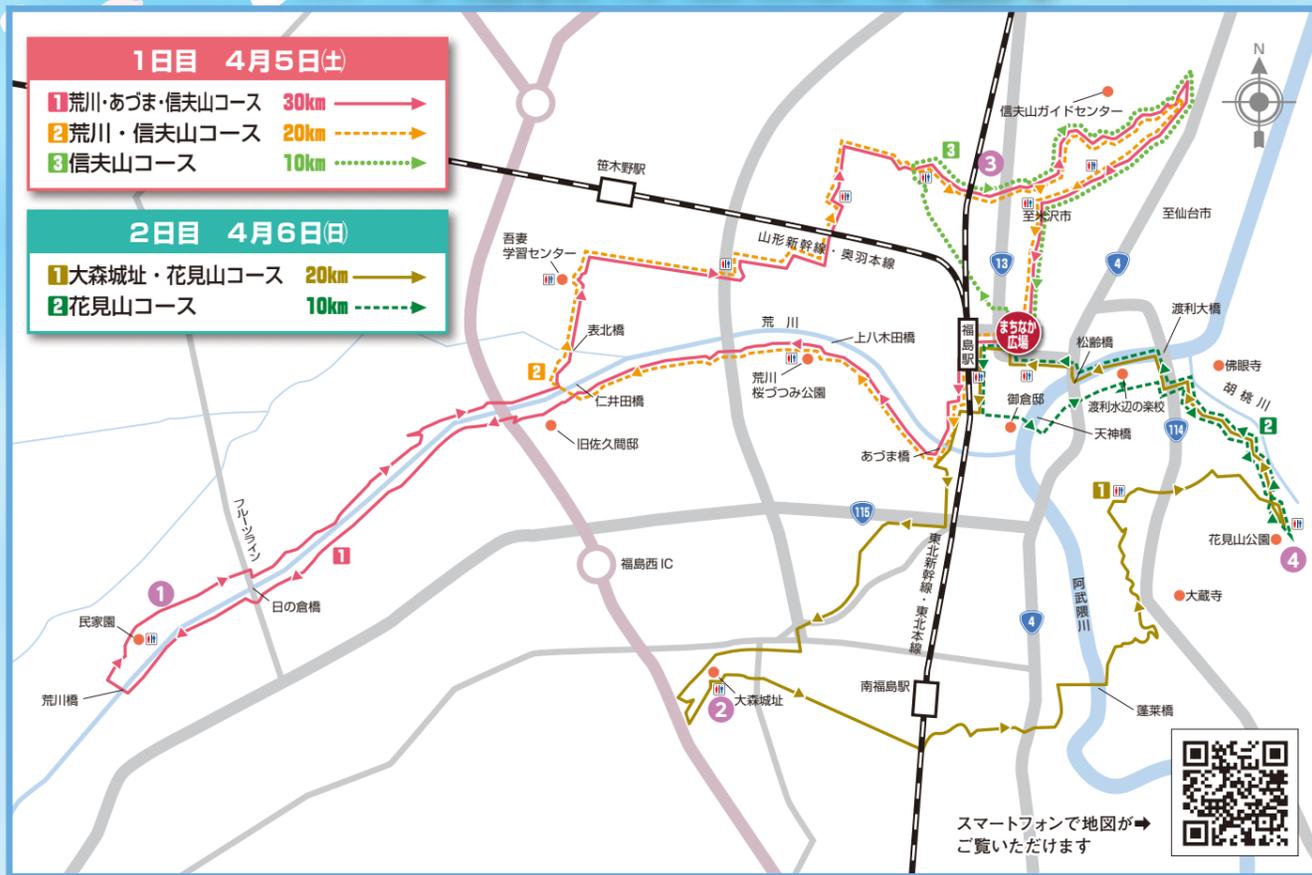
- ◆20キロコース(大森城址・花見山コース)
 まちなか広場⇒こむこむ前⇒あづま橋⇒大森街道⇒大森城址⇒蓬莱橋⇒大蔵寺⇒花見山⇒渡利大橋⇒舟場町地下歩道⇒まちなか広場
- ◆10キロコース(花見山コース)
 まちなか広場⇒こむこむ前⇒天神橋⇒水辺の楽校⇒花見山⇒渡利大橋⇒舟場町地下歩道⇒まちなか広場

コース及びみどころの紹介



●あづま総合運動公園
 広い園内に四季折々の花や草木があふれています。春には約1.7kmの園路沿いでソメイヨシノが美しい姿を見せます。5月下旬から、バラ園では約300種類・1,700株のバラが来園者を楽しませます。
【見頃】 4月上旬～中旬
【住所】 福島市佐原字 神事場1

●大森城址公園
 かつて伊達政宗の家臣・片倉小十郎景綱が城主となった城跡にはソメイヨシノやしだれ桜など、約700本の桜が咲き競います。例年4月初旬頃からさくらまつりが行われライトアップされます。
【見頃】 4月上旬～中旬
【住所】 福島市大森字 本丸82



●信夫山公園
 福島市のだ真ん中にそびえ立つ里山に約2,000本の桜が咲きます。お花見スポットの定番として家族連れやグループでにぎわっています。3月下旬頃からは露店が並び、ライトアップも実施されます。
【見頃】 4月上旬～中旬
【住所】 福島市太子堂1

●花見山
 春になると、ウメ・レンギョウ・トウカイザクラ・ボケ・ソメイヨシノ・ハナモモなどの花々が一斉に咲き競い、周辺の花木農家の畑と共に山全体が淡いピンク色に染まってみえます。
【見頃】 3月下旬～4月中旬
【住所】 福島市渡利地内
【開園時間】 午前6時～午後6時



引用元 一般社団法人 福島市観光コンベンション協会「ふくしま花回廊」<https://www.hanamiyama.jp/hanakairo/>

高湯温泉

吾妻の山々に抱かれるように、ひっそりと佇む高湯温泉。江戸時代の開湯時と変わらない「湯」が今もここに湧き続けています。湧き出たばかりの湯は無色透明。空気に触れることで湯花が発生し、白く濁ります。宿ごとに趣向異なる露天風呂や、湯治場の面影を残す内湯など、「湯」そのものを贅沢に楽しむことができます。



高湯温泉観光協会
 TEL: 024(591)1125
 FAX: 024(591)1136



(写真) 高湯温泉あったか湯

土湯温泉

会津エリアの玄関口になっている土湯温泉は、お風呂、お料理と、魅力あふれる宿が勢ぞろいしています。町内には気軽に温泉に浸れる公衆浴場や、日帰り入浴を行っている旅館もあります。また、土湯温泉は遠刈田、鳴子と並ぶ三大こけし発祥地と言われており、「土湯こけし」は今も昔も変わることなく多くの人の心を和ませてくれます。温泉と花と歴史の香りが漂う土湯温泉にぜひ足を運んでみてください。



土湯温泉観光協会
 TEL: 024(595)2217
 FAX: 024(595)2016



(写真) 土湯温泉街

飯坂温泉

飯坂温泉には9つの共同浴場があり、その中で鯖湖湯は飯坂温泉で一番古い湯で、元禄2(1689)年に飯坂を訪ねた芭蕉もこの湯に入ったといわれています。日本最古の木造建築共同浴場として親しまれてきましたが、平成5年に明治時代の共同浴場を再現した御影石の湯船に改築されました。また、飯坂には美味しいお店がたくさんそろっています。日帰り入浴や共同浴場の後に、ゆっくりと飯坂の美味をお楽しみください。



飯坂温泉観光協会
 TEL: 024(542)4241
 FAX: 024(542)4753



(写真) 飯坂温泉・鯖湖湯

福島市旅館ホテル協同組合

福島市旅館ホテル協同組合は市内で開催される小中高生や社会人のスポーツ、文化大会開催にあたり、窓口となって大会事務局と宿泊施設の調整を行っています。ふくしま吾妻荒川花見山ツアーデーなど地域のイベントの実行委員等の参加や、市や市観光コンベンション協会に対する協力など地域振興の取組にも積極的に関わっています。福島市で開催される大会の団体宿泊の際には、お気軽にお問い合わせください。



福島市旅館ホテル協同組合
 TEL: 024(522)9528
 FAX: 024(523)1428



引用 福島市観光ノート <https://www.f-kankou.jp/library/photo>